

herald.

EST. 1970

WOOD CLEANBURN STOVE

Installation and Operating Instructions

取扱説明書

Herald 14 ECO

仕様表

機種名	Herald 14 ECO
本体寸法	W712mm × D517mm × H694mm
本体重量	170 kg
本体材質	鋼板・鋳鉄
最大出力	15kw(12,900kcal/h)
最少出力	8kw(6,880kcal/h)
燃焼方式	Tripleburn®
燃焼効率	75% (木質燃料使用時)
CO排出量	0.072% (酸素13%時)
排気温度	328°C
排ガス質量流	8.1g/s
準拠規格	SIA Eco Design Ready / Defra Approved / Eco Design 2022 Approved
推奨薪長	350-450mm
煙突口元径	φ127mm
煙突方向	上部

はじめに

この度は、ハンターストーブ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では「ヘラルド14エコ」に関する使用方法とご使用上の注意事項が記載されています。
本機の機能を十分に発揮させる為、またお客様に安全にご使用いただく為にもご使用前に良くお読み下さい。
尚、本取扱説明書は大切に保管下さいますようお願い申し上げます。

目次

はじめに	1
目次	1
安全上のご注意	2~3
ご使用の説明	4
日常のメンテナンス	5
パーツリスト	6~8
MEMO	9

安全上のご注意

お客様、及び他の人への危害や損害を防ぐ為に、安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い頂きますようお願い申し上げます。



警告 警告事項を厳守しないと死亡や重症に至る重大な事故へとつながる危険があります



注意 注意事項を厳守しないと怪我、または製品に損傷を与える危険があります



警告

< ! >ハンターストーブ製品の設置及び煙突取付には法令、及び各都道府県や市町村自治体の条例が制定されています。設置はこの事を十分に理解した上で行ってください。

< ! >豆炭、ガソリン、灯油、アルコール、ビニール、プラスチック、ゴム、発砲スチロール、化学塗料、合成接着剤を使用した木材、防腐材を使用した木材は絶対に燃やさないで下さい。また本製品を焼却炉として使用しないで下さい。有毒ガスを発生させる原因になり、本体及び煙突を損傷させる恐れがあります。

< ! >ストーブ燃焼中に本体の周辺にはガソリン、灯油、アルコール、スプレー缶等の引火の危険があるものは絶対に置かないで下さい。火災及び爆発の原因となる恐れがあります。

< ! >ストーブ燃焼中に本体及び煙突周辺には引火性のある紙類、衣類などの可燃物は置かないで下さい。火災の原因となる恐れがあります。

< ! >ストーブ本体及び煙突の改造は絶対にしないで下さい。火災などの恐れがあります。また本体及び煙突の性能を損なう危険があります。

< ! >ストーブを燃焼させる際は換気口より十分な給気を行ってください。室内の空気が不足し、酸欠状態になる危険があります。また煙や炎が室内へ戻る恐れがあります。

< ! >燃焼中にドアのガラスにヒビや破損が生じた場合は直ちに使用を中止し、修理が完了するまでご使用にならないで下さい。

< ! >灰は必ず完全に鎮火してから不燃性の容器に入れ、フタをして可燃物のない場所に保管し、各市町村の指示に従って廃棄して下さい。(灰の完全鎮火には長時間を要します)

< ! >本体及び煙突はご使用者様の安全を守るためにも1年に1回以上の清掃及び点検を行ってください。



注意

< ! > 燃焼中及び鎮火後、しばらくストーブ本体及び煙突が高温になっています。火傷の原因になりますので素手で直接触れないようにしてください。

< ! > ストーブのご使用中にエア調整(給気口)、薪の投入などで本体に接触する場合は必ず保護手袋をご利用下さい。火傷の原因となります。尚、本体の高温時にビニール系及びナイロン系の防護具を使用すると素材が溶け本体に付着する場合があります。

< ! > 本ストーブは輻射式暖房です。輻射熱を皮膚に長時間あてますと低温火傷の危険があります。特に乳児やお年寄り、身体の不自由な方が近くにいるときは十分に気を付けてご利用下さい。

< ! > 燃料の超過投入、燃焼空気の過剰導入はストーブ本体及び煙突が超高温になる事があります。超高温な状態は本体及び煙突への破損や劣化を早める場合があります。また超高温で使用する事で思わぬ火災を招く危険があります。

< ! > 薪燃料をご利用される場合は含水量20%未満まで乾燥させたものをご利用下さい。含水量が多いことで燃焼温度が上がらず、煤やタールを多く発生させる原因になります。また煤やタールが煙突内に付着し、煙道火災につながる恐れがあります。

< ! > 薪ストーブご利用シーズン前に必ず煙突内及びトップに排煙の妨げになるようなもの(鳥の巣、枝、落ち葉等)がない事を確認してからご利用下さい。そのまま使用すると火災の危険があります。

< ! > 灰の除去は完全に鎮火し、本体及び灰が冷めている事を確認してから行ってください。火傷の原因になります。

< ! > 耐熱ガラスの清掃は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。火傷やガラス破損の原因になります。

< ! > ガasket等の交換は本体が完全に冷めている状態の時に行ってください。火傷や不具合が生じる原因になります。

< ! > 燃焼時に薪を追加する際は必ずエアコントロールを全開にしてから扉を開けてください。給気が少ない状態時に扉を開けると大量給気により炎が飛び出す危険があります。(バックドラフト)

大きな地震が発生した場合は揺れがおさまるまで慌てずに、ご自身の安全を守ることに努めてください。揺れがおさまりましたら、本体の燃焼室で燃えている燃料に乾いた大量の砂を被せて下さい。給気を失うことで炎は鎮火に進みます。尚、燃焼中に水などをかける事で本体を破損させるだけでなく、大きな災害につながる恐れがあります。使用の再開については弊社または販売店へご相談下さい。

<<ハンターストーブ日本総輸入元>>
株式会社 エイコーテレス
049-272-7720

ご使用の説明

＜着火から通常運転までの手順＞

エアーコントロールロッドを全開位置(右方向)へ動かし、グレートが閉じている事を確認してください。

よく乾燥したための薪(約6cm角)を2～3本、その上に交差するように細目の薪(約1～3cm角)を2本のせます。木と木の間は空気が通りやすいように隙間をつくります。
細めの薪の上に着火剤を1～2個置き、その上にさらに細かい薪(約1cm角)を2～4本程のせ、火を点けたらドアを閉めます。

※慣らし運転(塗料硬化の為)

最初の運転から2～3回は、慣らし運転の為薪を足さずに上記の焚き方を繰り返してください。

その後は、以下の通りに焚いて下さい。

※焚き付け時は、ガラスに少量の煤が付く場合がありますが一定時間が経過すると解消されます。

薪の追加

燻が出来たら薪を追加していきます。追加の薪は約6cm角のものを2～3本ほど使用することをお勧めします。このとき、エアーコントロールは全開位置にします。

薪の高さは、サイドレング中央部にあるリミットラインを越えないようにしてください。

また、ドアを開ける際は少しの隙間を空け5～10秒程そのままにし、その後ゆっくりとドアを開けていきます。

※ドアを素早く開けると、煙が室内に引き込まれる可能性があります。

※必ずストーブグローブを使用してください。

全体に火力が強くなったら、エアーコントロールロッドを左方向へ動かし、空気の量を調整します。

※必ずストーブグローブを使用してください。

完全に鎮火してしまった状態から着火する場合は手順の最初からやり直してください。

※塗料が硬化する際、煙や臭いが出る場合があります。

換気の為、短時間窓を開けておくことをお勧めします。また、痕が残ってしまうため、塗料が硬化する前にストーブトップに物を置かないでください。



エアーコントロール
全開



エアーコントロール
全閉



リミットライン

日常のメンテナンスについて

●本体について●

日常メンテナンスではホコリなどを良く絞った布で拭きとって下さい。また薪ストーブ本体には錆を防ぐ耐熱塗料が施されています。使用頻度により剥離する場合があります。そのような場合は専用の耐熱タッチアップ塗料で補修して下さい。尚、塗料には有毒なガスが含まれていますので良く換気をして行ってください。

※完全に鎮火した状態の時に行ってください。

●錆(さび)について●

鉄製の薪ストーブは設置環境により錆が発生する場合があります。錆が発生した場合はサンドペーパー等で錆を落とし、専用の耐熱塗料でタッチアップして下さい。尚、シーズンオフ中の燃焼室内の錆がひどく目立つ場合はオリーブオイル等を塗っておくと錆を防ぐことができます。

●耐熱ガラスについて●

べっ甲色に付いた煤はストーブを一定時間高温にする事で白色化し、本体が冷却している時に柔らかい布で簡単に拭き取れます。急いで落としたいときは本体を一度冷却し、専用のガラスクリーナーと柔らかい布で拭き落としてください。高温時には火傷の原因、ガラス破損の危険性があるので絶対に行わないで下さい。

●灰について●

アッシュパンに溜まった灰を定期的に除去して下さい。薪ストーブ本体が完全に冷却され、完全に鎮火してから行ってください。

●耐熱ブリックについて●

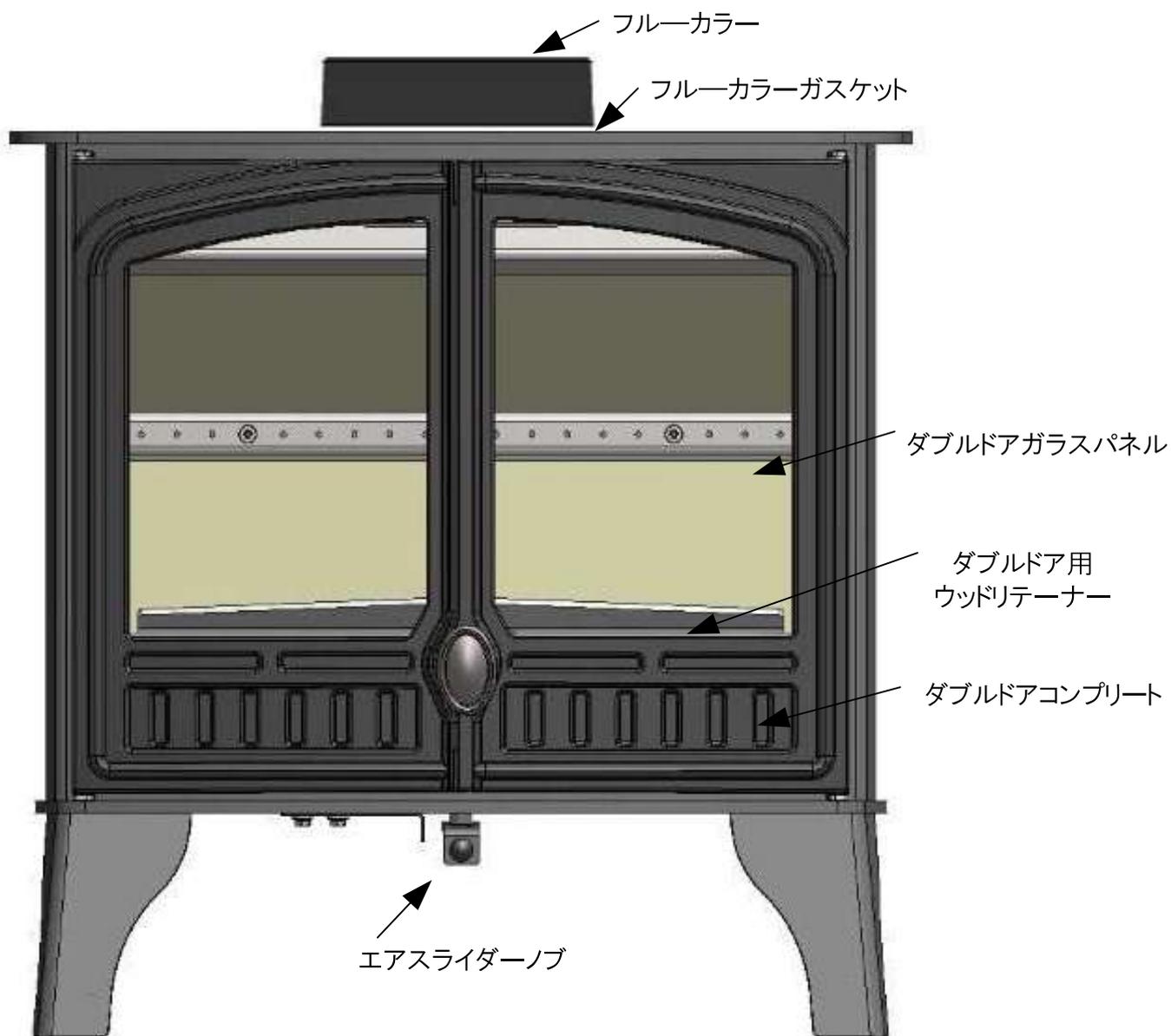
水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合に耐熱ブリックが黒褐色になる場合があります。一度、高温で焚くことで煤は全て燃えてしまいます。大量に煤が付着しているようなら本体から外し、柔らかいブラシで落として下さい。尚、耐熱ブリックは衝撃に弱く、落としたり、突起物を当てる事で破損します。取扱いには十分に気を付けてください。

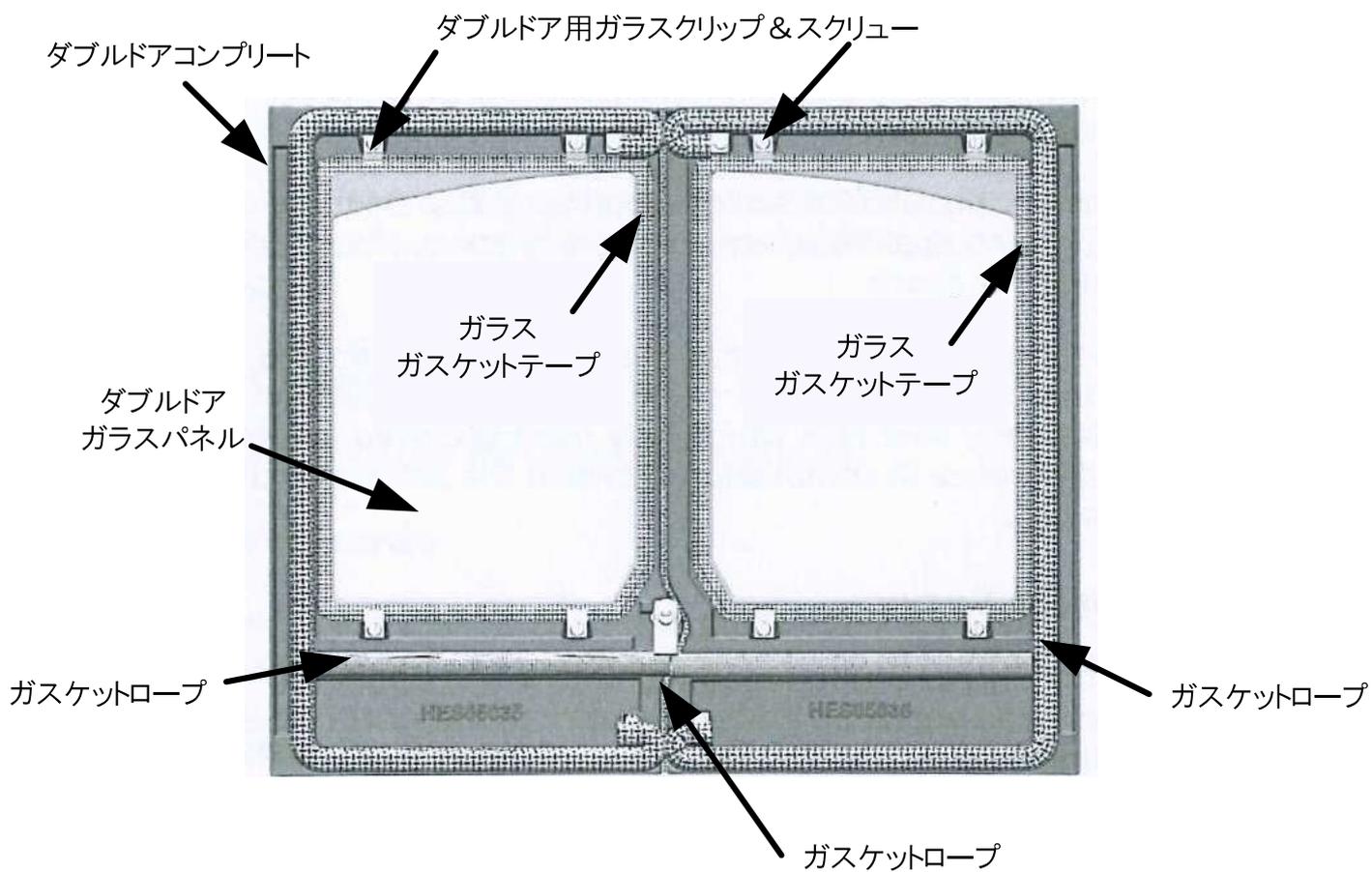
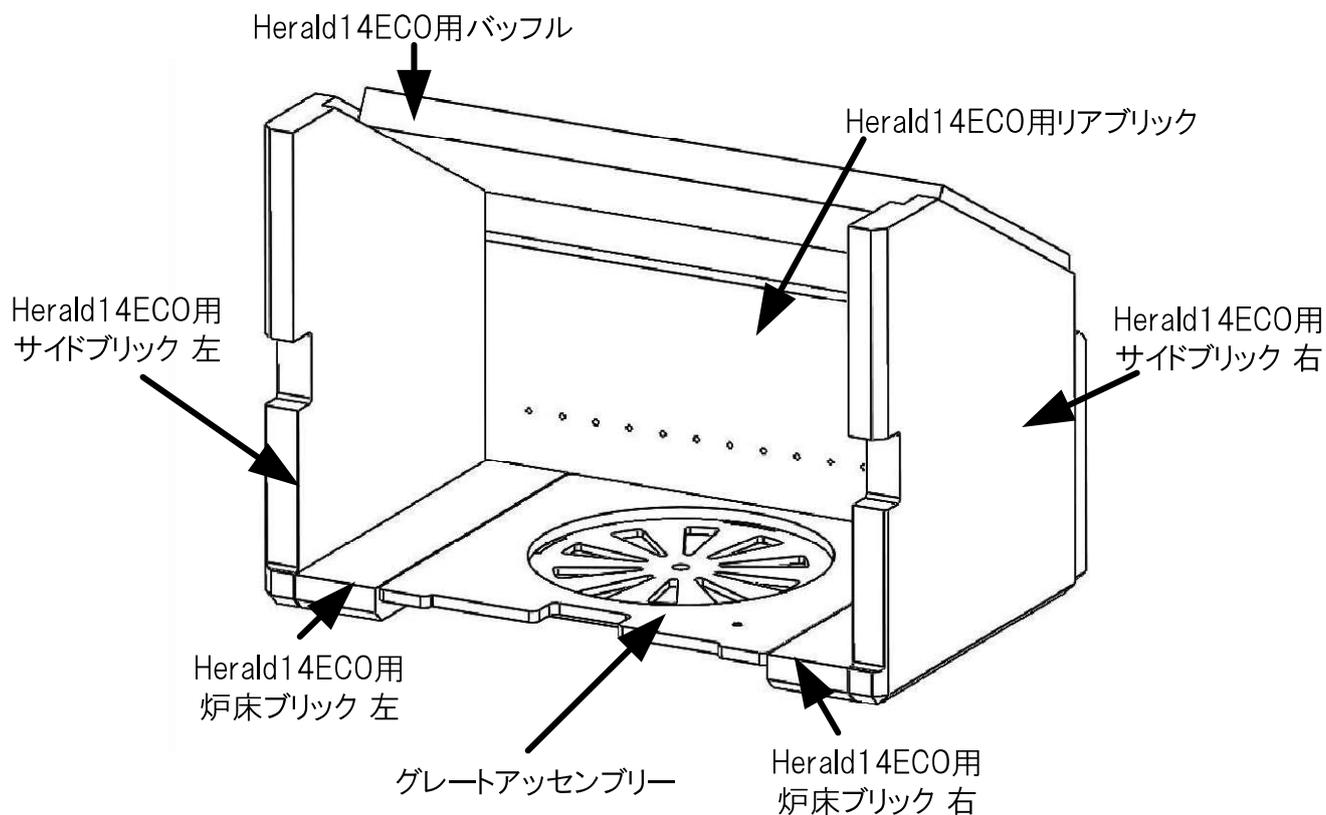
●煙突について●

水分の多い薪を利用し、給気も絞り気味でご使用された場合に煙突に大量の煤やタールが付着する場合があります。このままでのご利用は煙道火災の原因ともなりますので、煙突内の清掃を行ってください。

特に煤及びタールは冷却される事で凝固する習性があります。従って、煙突のトップ及び鳥の侵入を防ぐ防鳥網に多くついていることが多いです。尚、高所での作業となりますので安全対策をしっかりと行って作業をして下さい。高所に不安がある方は専門家に依頼する事をお勧めします。

パーツリスト





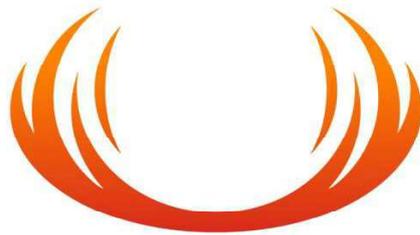
Herald 14 ECO

部位	製品No	製品コード	製品名
コンプリートドア アッセンブリー	C-1	HHE14ARRT025	ダブルドアコンプリート
ドアコンポーネント	D-1	HHE14039	ダブルドアガラスパネル
	D-2	FGTR0412	ガラスガasketテープ1190mm
	D-3	HHR08164S	ガラスクリップ&スクリュー(各1つ)
	D-4	HHE04ARRT011	ハンドルアッセンブリー
	D-5	GKR12R14A	右ドアガasketロープ12mm×1500mm
	D-6	GKR12L14A	左ドアガasketロープ12mm×1000mm
	D-7	GKR12R14C	右ドアガasketロープ12mm×492cm
	D-8	GKR12R14CB	右ドアガasketロープ12mm×290mm
	D-9	GKR12L14CB	左ドアガasketロープ12mm×290mm
本体	B-1	HHE14027L	Herald14ECO用リアブリック 左
	B-2	HHE14027R	Herald14ECO用リアブリック 右
	B-3	HHE14031	Herald14ECO用サイドブリック 左
	B-4	HHE14026	Herald14ECO用サイドブリック 右
	B-5	HHE14030	Herald14ECO用バッフル
	B-6	HHE14028	Herald14ECO用炉床ブリック 左
	B-7	HHE14029	Herald14ECO用炉床ブリック 右
	B-8	HHE14ARRT015	グレートアッセンブリー
	B-9	HHE14ARRT0D	ウッドリテーナーダブルドア用
	B-10	HHE14ARRT011	アッシュパン
	B-11	HCE06059MB	エアスライダーノブ
	B-12	HCE06062	フルーカラー
	B-13	CH05011	フルーカバー
	B-14	CH05042	フルーカラーガasket
その他	O-1	BHS14ECO	ボトムヒートシールド
	O-2	ADP1	異径アダプタータイプ1(段付き)
	O-3	ADP2	異径アダプタータイプ2(ストレートタイプ)
	O-4	HT-605SBA	ハンターストーブ共通耐熱塗料

※仕様等の変更に伴い販売価格は予告なしに変更する場合があります。

※スペアパーツの交換は必ずハンターストーブ純正部品をお使いください。
純正部品以外でのご利用で本体に破損が生じた場合、一切の責任は負いかねます。
詳しくは弊社または販売店にお問い合わせください。

MEMO



hunterstoves

GROUP

ハンターストーブ 日本総輸入元

株式会社エイコーテレス

〒350-2223 埼玉県鶴ヶ島市高倉1241-9

TEL 049-272-7720 FAX 049-272-7765

<https://hunterstoves.jp>